

食料自給率が39%になってしまいました・・・！！

平成10年に食料自給率(食料のうち日本国内で生産されている割合)が40%になって以降40%を維持していましたが、先日発表された平成18年速報値では39%になってしまいました(右表参照)。そこで今回は食料自給率について考えてみたいと思います。

食料自給率は何を基準にするかにより3種類あります。

1)重量ベース自給率

生産量や輸入量などを重さを基準にした自給率です。(品目別自給率は重量ベース自給率で示されます)

2)カロリー(熱量)ベース自給率

食料の重さはまちまちですので食料に含まれるカロリーを基準にした自給率です。なお、牛乳・肉類・卵ではそれぞれ飼料の自給率も含めて計算されます。一般的に食料全体を示す総合自給率はこの形式を指します。(通常、食料自給率と言ったらこの値です)

3)生産額ベース自給率

重要な食料である野菜や果物は低カロリーであるためにカロリーベースでは少なく評価されてしまいますので、よりの確に反映させるため生産価格や輸入価格を基準とした総合自給率です。平成18年速報値は68%。

自給率が低下している要因は明らかに食生活の変化ですが、ある調査(右下表参照)では、普段ご飯を食べる人は98.7%あるものの1日3回食べる人は21.8%となっております。主要穀物である小麦の自給率は13%ですが、うどん等の原料となる小麦(中力粉)は国内でも栽培されているものの、パンや中華めんの原料となる小麦(強力粉)は北海道の一部を除いて国内ではほとんど栽培されておりません。またマカロニやパスタ用のデュラム種は多湿の日本では栽培できないそうです。このように国内では栽培できない物も多々あります。

農水省は“平成27年には自給率45%”を目標に自給率向上の取り組みを行っておりますが目に見える効果はまだ上がっておりません。今となっては、和食中心の食生活に戻れ、と言われても出来る事ではありません。自給率を上げると言ってもそう簡単な話ではないことがわかります。

今回は自給率の説明になってしまいました。食料自給率について、皆さんはどうお考えでしょうか・・・？

平成18年品目別自給率(速報値)	%
米	94
小麦	13
いも類	80
豆類	7
大豆	5
野菜	79
果実	39
みかん	94
りんご	56
肉類(鯨肉を除く)	55
牛肉	43
豚肉	52
鶏肉	69
鶏卵	95
牛乳及び乳製品	66
魚介類	52
海藻類	67
砂糖類(沖縄県を含む)	32
油脂類	13
きのこ類	81
飼料を含む穀物全体の自給率	27
主食用穀物自給率	60
供給熱量ベースの総合食料自給率	39
生産額ベースの総合食料自給率	68
飼料自給率	25
普段ご飯(米)を食べると回答した人	98.7
内、1日でご飯を食べる回数(%)	
1回	22.5
2回	55.6
3回	21.8



全国M式水耕技術研究大会のお知らせ

今年10月6日(土)~7日(日)に第32回全国M式水耕技術研究大会が名古屋で行われます。順次案内状を発送しておりますが、まだお手元に届いていない方が居られましたらご面倒でもM式水耕研究所までお問い合わせ下さい。(電話 0567-52-2401)